

（様式第2）社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成23年 12月20日

計画の名称	幹線道路網の整備による、中心市街地へのアクセス向上と活発な交流が生まれるまちづくり			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度（4年間）	交付対象	一宮市	
計画の目標				

一宮市は、平成17年4月に旧一宮市・旧尾西市・旧木曾川町が合併し、新一宮市となった。その新市建設計画の中で最重要課題として、「都市基盤の整備」を掲げ幹線道路網の整備を進め、活発な交流が生まれる魅力あるまちづくりを目指し、人・モノ・情報が集まり交流するまちづくりを目標と定めた。その計画の中でも特に、新一宮尾西線と木曾川玉野線は、旧尾西市と旧一宮市の中心市街地を結ぶ重要路線であり、アクセス性の向上が両地区の発展のためには不可欠である。合併から6年が経過し、ますます増加してきている交通需要に対応するためにも、この2路線の整備の必要性は高まってきている。このことから、この2路線を早期に整備完了させ、活発な交流が生まれるまちづくりを目指すものである。

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 事業実施箇所から中心市街地（一宮駅）へのアクセス時間の短縮
- ② 駅周辺がにぎわっていると思う人の割合

定量的指標の定義及び算定式

- ① (事業実施箇所における事業実施後のアクセス時間) / (事業実施前のアクセス時間) × 100
アクセス時間：事業実施箇所から中心市街地（一宮駅）への自動車の実移動時間
- ② (市民アンケート調査で「一宮駅周辺がにぎわっていると思う」と答えた人の数) / (アンケート回答総数) × 100
市民アンケート調査：市内在住3,000人対象（等間隔抽出法により抽出）、毎年実施

定量的指標の現況値及び目標値

当現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	備考
100 %	95 %	90 %	
10.4 %	24.0 %	27.4 %	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,573 百万円	A	2,573 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	--------------	---	--------------	---	----------	---	----------	---------------------------	------

交付対象事業

A 道路事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
											H24	H25			H26	H27	H28
-A1	街路	一般	一宮市	直接	-	市町村道	改築	(都) 新一宮尾西線	L=850m、W=16.0~19.0m	一宮市						1,823	
-A2	街路	一般	一宮市	直接	-	市町村道	改築	(都) 木曾川玉野線	L=610m、W=16.0~19.0m	一宮市						750	
											合計	2,573					

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H24	H25	H26			H27	H28
											合計	0				

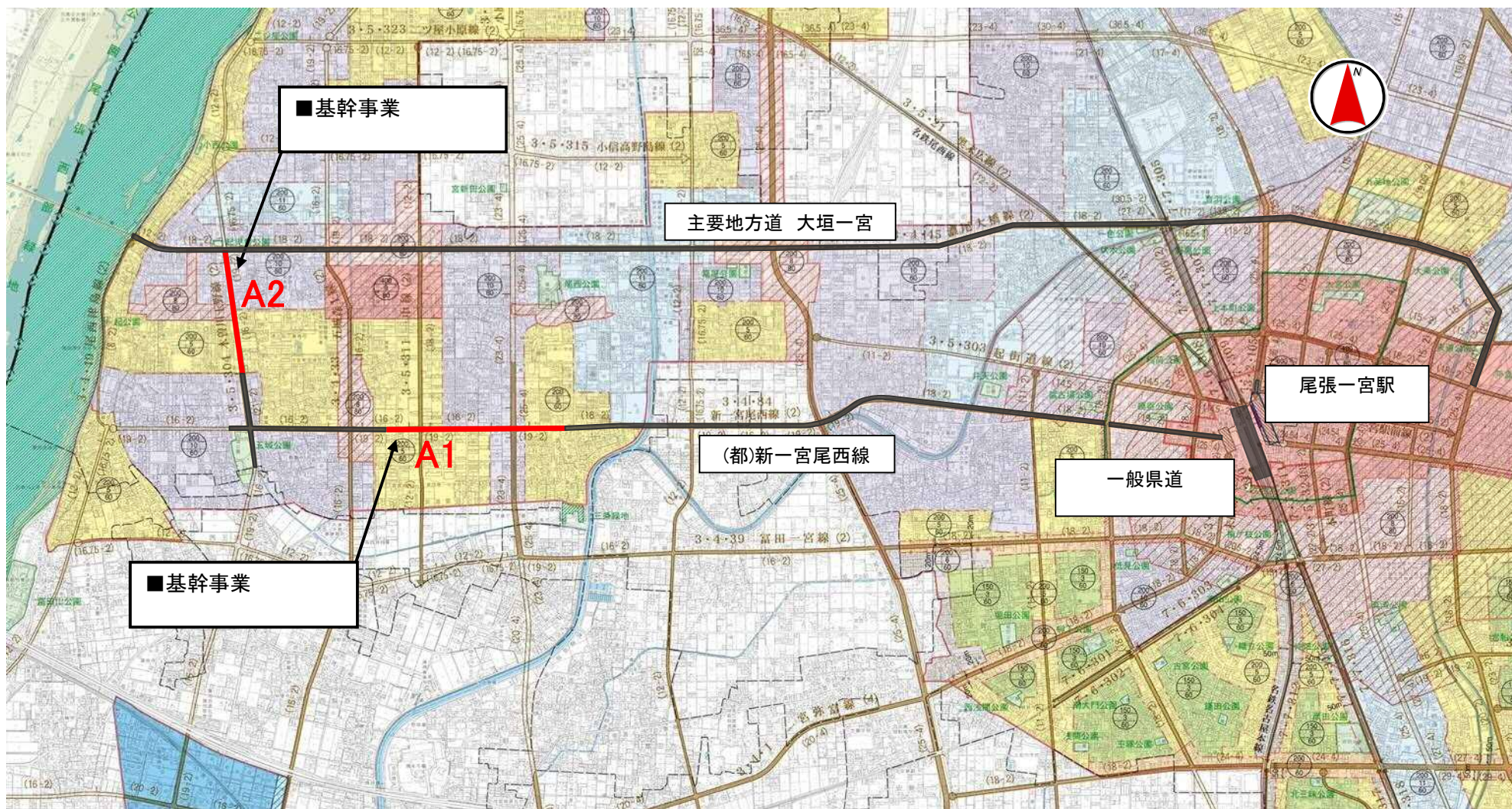
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H24	H25	H26			H27	H28
											合計	0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

(様式第3) (参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	幹線道路網の整備による、中心市街地へのアクセス向上と活発な交流が生まれるまちづくり		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)	交付対象	一宮市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 幹線道路網の整備による、中心市街地へのアクセス向上と活発な交流が生まれるまちづくり

事業主体名： 一宮市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込み妥当性	○
III. 整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業態度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の現実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○